

投稿規定 (2024年1月改訂)

「地理科学」は地理科学学会の会員が作成する査読付き学術雑誌である。地理学および地理教育に関連する研究成果等を掲載し、一般に公開している。掲載する論文については、会員が投稿することができる日本語版と、広く海外からの投稿を期待するためのオープンアクセスの英語版がある。これらは別冊子とするのではなく、同一の雑誌として作成する。公開は、冊子体で刊行するほか、科学技術情報発信・流通総合システム (J-STAGE) を介してインターネット上で公開している。

1. 投稿の資格

日本語版について、投稿は本学会の会員に限る。連名の場合には少なくとも著者の一人が本学会の会員であることを要する。なお、原稿の種別における「シンポジウム論文」への投稿は、この限りではない。

2. 著作権

掲載された論文の著作権は地理科学学会に属する。

3. 原稿の種別 (日本語版)

論説：地理学および地理教育分野に関する分析視点・研究方法・データなどの面でオリジナルな研究成果をまとめたもの。原則として学会発表等において十分討議されていること。

短報：論説の内容となりうる研究の中間報告や予察的研究・事例研究などをまとめたもの。および、地理学および地理教育分野に関する新たな資料や知見の報告・速報。

展望：地理学および地理教育分野ならびに関連諸分野の研究動向を明らかにし、今後の研究の展開に資するもの。

フォーラム：地理学および地理教育分野の諸問題についての議論や問題点を紹介・解説したもの。地理学および地理教育の発展に資する問題提起や意見をまとめたもの。「地理科学」に掲載された論説等への批判・質問およびそれへのリプライ。

シンポジウム論文：本学会大会におけるシンポジウムで報告した研究成果をまとめたもの。

書評：地理学および地理教育に関する図書・論文についての批評・紹介。

編集専門委員会は、上の種別によらない原稿の寄稿を必要に応じて依頼することができる。

4. 原稿の長さ

図表を含めた刷り上がりページ数は、原則として次のように制限し、これを超過した場合には超過分の費用を著者の負担とすることがある。なお、刷り上がり1ページは、論説・短報・展望・フォーラム・シンポジウム論文の場合21字×38行×2段、書評の場合24字×45行×2段である。また、カラー印刷等の特別経費は原則として著者負担とする。

論説・展望：刷り上がり21ページ以内。

短報・フォーラム：刷り上がり14ページ以内。

シンポジウム論文：刷り上がり10ページ以内。

書評：それぞれ刷り上がり20ページ・4ページ以内。

5. 原稿の校閲

第3項にあげたすべての原稿（書評および依頼原稿は除く）は編集専門委員会を選んだ校閲者（レフェリー）によって閲読され、その意見にもとづき、編集専門委員会が採否を決定する。編集専門委員会では掲載を決定した原稿について、内容の加除訂正を求めることがある。

6. 原稿の送付

原稿は、以下の3つのPDFファイルで送信する。①送付状、②テキスト（タイトル、摘要、本文、注、参考文献、英文要旨とその翻訳）、③図・表とする。再投稿以降も同様である。原稿の送付先は次のとおりである。なお、送り方がわからない場合や、ファイルサイズが大きく送付できない場合は、下記に問い合わせること。

送付先・連絡先：edit@chiri-kagaku.jp

7. 原稿の校正

著者は初校のみ校正を行い、その後の校正は編集専門委員会が行う。

8. 別刷について

別刷は50部単位で作成できる。原則として費用は著者負担とするが、学生会費納入者については（共著の場合は筆頭著者が条件を満たすこと）、100部までの費用を学会負担とする。

9. 投稿の取り下げ

投稿を取り下げる場合、その旨を編集専門委員会宛（上記連絡先）に通知すること。また、最終審査日から1年以内に再投稿が行われない場合、編集専門委員会は著者が投稿を取り下げたものとみなす。